
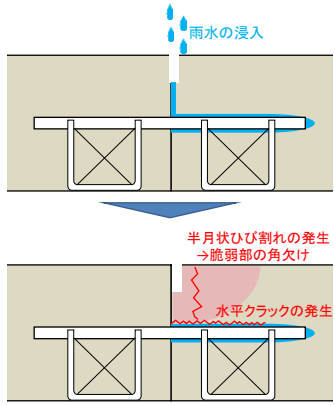

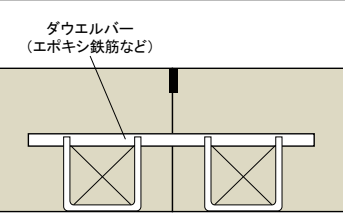


発生箇所	②横目地
分類	維持修繕
参考箇所	9-3-2(2) 目地部の角欠け
<p><b>●内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>目地部において、半月状の大きな角欠けが生じた。</li> </ul>	
<p><b>●原因</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>目地材が飛散した箇所から浸入した水により、ダウエルバーが腐食・膨張し、バー周辺に生じた水平クラックに浸入した水が凍結融解を繰り返すことで、水平クラックが発達して半月状のひび割れが発生した。</li> <li>ひび割れが生じた箇所周辺が脆弱部となり、コンクリート片が飛散することで、大きな角欠けへと進展した。</li> </ul>	 <p style="text-align: center;">断面図</p>
<p><b>●発生防止策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>目地材のはみ出し・飛散がみられた際は、速やかに再充填を行い、目地部からの水の浸入を防ぐ。</li> <li>凍結防止剤を散布する地域では、エポキシ樹脂塗装鉄筋などの腐食に強い鋼材をダウエルバーに使用する。</li> </ul>	
<p><b>●発生した場合の対応策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>目地部の局部打換えを実施する。その際、エポキシ樹脂塗装鉄筋などの腐食に強い鋼材をダウエルバーに使用する。</li> </ul>	 <p style="text-align: center;">断面図</p>